

GTFSデータリポジトリユーザー会資料
2024年2月29日

コンテンツプロバイダ（CP）における GTFSデータリポジトリの利用状況と要望

GTFSデータリポジトリ事務局
一般社団法人日本バス情報協会

西澤 明

- 日本バス情報協会では昨年12月にコンテンツプロバイダ（CP）4社の方に参加いただき、「CPバスデータ実務の会」を開催
- その際のお話などを元にリポジトリの利用状況やご要望をとりまとめたので紹介します。
- リポジトリ利用の参考にしていただくとともに、G T F Sデータを提供していただいているバス事業者や市町村へのお願いをしたいと思います。

リポジトリのGTFSデータ利用状況

- 3社がリポジトリのGTFSデータを使用
- 1社は更新を確実にするためリポジトリのGTFSデータの使用を検討中
- ただし、すべてリポジトリのデータを使用するのではなく、あらかじめ、事業者・市町村とリポジトリのGTFSデータを取得すると取り決めたところのみ取得しているCPもある

リポジトリのAPI利用状況

- 3社がリポジトリの更新情報を得るため、APIを使用
- APIで情報を取得(毎日あるいは週2日程度)、前回と更新日の差分をとって、更新があったフィードのデータを取得。
- APIでフィードの一覧を取得し、更新情報を社内SNSで共有

リポジトリへの要望

- 組織のID、フィードのIDが変更されると追跡が困難になるので、変えないようにしてほしい
 - リポジトリの仕組み上、組織IDは変えられない、同じIDの再利用も不可
 - フィードのIDは組織(バス事業者・市町村)が変えることはできないが、廃止・新設は可能なので、実質的に変わってしまう可能性はある
- ダウンロードされるファイルのファイル名がfeed.zipと同じなので多数DLしたときに分かりにくい
 - ファイル名に組織ID、フィードID、更新日時を入れるよう改修済
- 過去のダイヤ改正日とデータ更新日の対比がわかると、データ更新が確実な事業者・市町村がわかるのでありがたい
 - ある程度は、フィードの履歴ページをみると分かるが、データ開始日とダイヤ改正は必ずしも一致しないので、更新メモにダイヤ改正日が記載されているとよい
- その他、リポジトリの機能自体はおおむね十分であると感じている

リポジトリのGTFSデータ使用の課題

[データの正確性・品質]

- バリデータで警告・エラーがあるGTFSデータを使用して大丈夫か
- 事業者から提供された運賃の三角表とGTFSデータが一致していないことがある

[ダイヤ改正時のデータ更新]

- ダイヤ改正時にリポジトリのデータが確実に更新されているかがまちまち
- リポジトリのデータ更新よりも事業者の公式サイトの新スリリースのほうが早い
ため、更新情報をリポジトリから取得していないCPもある
- GTFSデータを使ったほうが作業が早い
が、実際にはGTFSデータの作成が遅くなりPDF等の資料を使用しているケースも多く、GTFSを活用できていない
- リポジトリの更新メモの欄に、ダイヤ改正の日付を記入してもらうとわかりやすい

データ提供いただいているバス事業者・市町村へのお願い

- 検証結果（バリデータ）で表示される警告・エラーの解消。
→ 対応方針や対応不要なものを説明ページで表示しているので参照してください
- 正確な運賃データの作成。
- ダイヤ改正時にはG T F Sデータ更新も早めに行い、2週間前を目標にリポジトリにアップロードをお願いします
- データ更新時には、更新メモの欄に、ダイヤ改正日を記入してください。また、改正内容の概要も記入していただくとうかがいます。

**バス利用者に正確な情報を遅滞なく伝えられるよう
ご協力をお願いします。**